

加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-KVG900 を発売

新搭載の「ワイドスピード集じん」で8畳のお部屋なら、わずか7分で清浄



EP-KVG900
シャンパン(N)

EP-KVG900
パールホワイト(W)

日立アプライアンス株式会社(取締役社長:二宮 隆典)は、本体の背面側方からワイドに吸い込み、きれいな空気を本体上方から吹き出す集じん方式「ワイドスピード集じん」を採用し、8畳ならわずか7分で清浄できる加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-KVG900を10月4日から発売します。

本製品は、本体の背面側方の吸気面積を従来機種^(*1)の1.5倍に拡大するとともに、大風量を実現する新モーターと小型高効率ファンを搭載することで実現した集じん方式「ワイドスピード集じん」を採用しています。これにより、適用床面積^(*2)～41畳^(*3)、8畳なら7分で清浄する集じん能力を実現しました。

また今回新たに、お手入れがしやすく、デザイン性にも優れた強化処理ガラス製の「ガラスパネル」を本体前面に採用しました。本体前面には使いやすい「タッチ操作部」を搭載しています。また、床の設置面積はB5版ノートを開いた状態とほぼ同じサイズ^(*4)のスリムデザインとしており、置き場所にも困りません。

空気清浄機内部のプレフィルターやフラップ、吹き出し口に除菌^(*5)効果があるステンレスを使用した継続採用の「ステンレス・クリーン システム」に加え、水洗いが可能な耐水性脱臭素材の「洗える脱臭フィルター」を新たに採用するなど、お手入れのしやすさと清潔さにこだわった様々な機能を搭載しています。

さらに、微粒子を検知してターボ風量で清浄する「PM2.5センシング」を新たに搭載しました。継続採用となる「アレルオフ微細じんHEPAフィルター」との相乗効果により、微細な粒子もしっかり捕集します。

なお本製品に加え、「ワイドスピード集じん」や「ガラスパネル」を採用した適用床面積～31畳^(*3)のEP-KVG700、適用床面積～26畳^(*3)のEP-KV600を合わせた加湿空気清浄機3機種、除湿・加湿空気清浄機EP-KV1000、空気清浄機EP-KZ30の計5機種を同時発売します。

(*1) 当社2013年度商品 EP-JV700 との比較。

(*2) 適用床面積とは、30分で清浄できるお部屋の広さ(天井高さ2.4mで算出)の目安。日本電機工業会規格「JEM1467」による。

(*3) 空清運転時。

(*4) 設置面積:奥行254mm×幅360mm。B5版ノートを開いた状態:奥行257mm×幅364mm。

(*5) 空気清浄機から出る空気をすべて除菌しているわけではありません。詳細はp.5の(*8)参照。

■新製品の主な特長<加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-KVG900>

1. 「ワイドスピード集じん」で8畳のお部屋なら、わずか7分で清浄 **New**
2. お手入れがしやすい「ガラスパネル」と操作が簡単な「タッチ操作部」を新たに採用 **New**
3. 「ステンレス・クリーン システム」に加え、お手入れと清潔さにこだわった新機能も搭載 **New**

■型式および発売日

タイプ	型式	適用床面積	本体希望小売価格	発売日	当初月産台数
加湿空気清浄機	EP-KVG900	～41 畳	オープン価格	10月4日	20,000 台
	EP-KVG700	～31 畳			
	EP-KV600	～26 畳			
空気清浄機	EP-KZ30	～15 畳			
除湿・加湿空気清浄機	EP-KV1000	～27 畳			

■需要動向と開発の背景

2014 年度の空気清浄機の総需要は、約 275 万台(前年比 100%)で推移すると予測しています。その内、加湿空気清浄機が全体の約 89%(台数ベース)を占める見込みです(当社調べ)。

今回当社では、加湿空気清浄機の集じん性能の向上を図るため、新たな集じん方式「ワイドスピード集じん」を採用した新製品を開発しました。これにより、適用床面積～41 畳の機種では、8 畳のお部屋をわずか 7 分で清浄できる集じん性能を実現しました。

■お客様からの問い合わせ先

お客様相談センター 電話 0120-3121-11(フリーコール)

受付時間：9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)【年末年始を除く】

■空気清浄機ホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/airclean/>

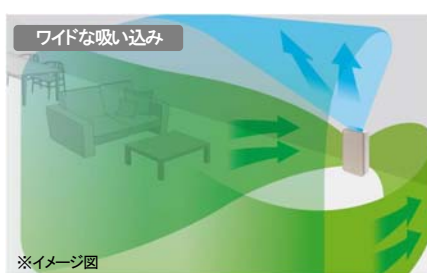
以上

(添付資料)

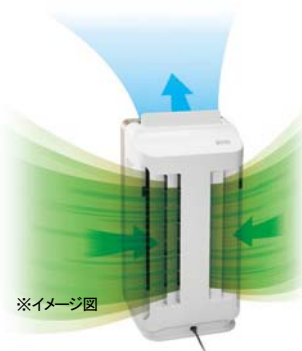
■加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-KVG900 の詳細説明

1. 「ワイドスピード集じん」で 8 畳のお部屋なら、わずか 7 分で清浄

本製品は、本体背面側方からお部屋の空気をワイドに吸い込み、きれいな空気を本体上方から吹き出す集じん方式「ワイドスピード集じん」を採用しました(図 1)。具体的には、背面側方に新たに設けた吸い込み口の吸気面積を従来機種^(*)1)の約 1.5 倍に拡大することで、より多くの空気を取り入れやすくしました(図 2)。また、新モーターと小型高効率ファンを搭載し、さらに吹き出し流路を最適化(図 3)することで 9m³/分の大風量化を実現しました。これらにより適用床面積^(*)2)～41 畳^(*)3)、8 畳ならわずか 7 分で清浄し、従来機種と比較して約 1.7 倍速い^(*)4)スピード集じんを達成しました。



[図 1 ワイドスピード集じん]



[図 2 吸気面積の拡大]



[図 3 ワイドスピード集じんのメカニズム]

また、通常の空清自動運転に比べて、スピード清浄する「PM2.5 センシング」を新たに搭載しました(図 4)。「PM2.5 センシング」をオンにすると、ホコリセンサーの微粒子濃度の検知を高感度に切り替え、濃度が高い時は、自動でターボ風量になり、室内をすばやく清浄^(*)5)します(ホコリセンサーの検知は 0.5 μ m 以上)。HEPA フィルター等により、0.1 μ m 以上の微粒子の捕集が可能です。清浄後は風量を下げて、高感度検知のまま室内を自動監視し続けます。室内の状態は、濃度に応じてクリーンモニターで(緑[きれい]⇄赤[汚れている])表示します。



[図 4 PM2.5 センシング]

(*1) 当社 2013 年度商品 EP-JV700 との比較。

(*2) 適用床面積とは、30 分で清浄できるお部屋の広さ(天井高さ 2.4m で算出)の目安。日本電機工業会規格「JEM1467」による。

(*3) 空清運転時。

(*4) 当社 2013 年度商品 EP-JV700(適用床面積:～24 畳、清浄時間:8 畳なら 12 分)と新製品 EP-KVG900(適用床面積:～41 畳、清浄時間:8 畳なら 7 分)との比較。

(*5) 当社独自の試験条件による。通常の空清自動運転と比較。初期濃度約 1,000 μ g/m³が 35 μ g/m³に低下するまでの時間。通常の自動運転:38 分、「PM2.5 センシング」による自動運転:20 分。試験粉じん:タバコの煙。約 8 畳の試験空間。実使用空間での結果ではありません。

2. お手入れがしやすい「ガラスパネル」と操作が簡単な「タッチ操作部」を新たに採用

本体前面の「ガラスパネル」には、傷つきにくく、お手入れも簡単な強化処理ガラスを新採用しました。ガラス面は、フラットで汚れもサッとふき取りやすいのも特長です(図5)。また、高級感ある仕上げで、周囲の家具に合わせやすく、インテリア空間を美しく演出します。



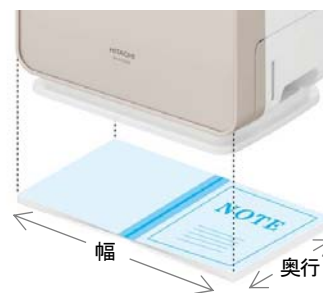
【図5 ガラスパネル】

さらに、前面ガラスパネルの操作部には「タッチ操作部」を新採用しました。通常運転時は操作ボタンを消灯し、湿度／温度、クリーンモニターのみ表示できる仕様です。「MENU」ボタンに触れると操作ボタンがガラス面に表示され、シンプルでわかりやすい操作ボタンが点灯します(図6)。



【図6 タッチ操作部】

また、設置スペースは、B5版ノートを開いた状態とほぼ同じサイズ^(*6)です。置き場所に困らないスリムデザイン(図7)で、従来機種と比べ約2割の省スペース化^(*7)を実現しました。



【図7 スリムデザイン】

(*6) 設置面積: 奥行 254mm×幅 360mm。B5 版ノートを開いた状態: 奥行 257mm×幅 364mm。

(*7) 当社 2013 年度商品 EP-JV700 との比較。

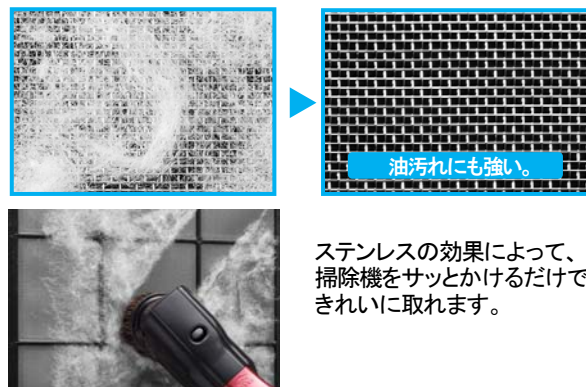
3. 「ステンレス・クリーン システム」に加え、お手入れと清潔さにこだわった新機能も搭載

本製品は、空気清浄機内部の清潔さにこだわり、プレフィルターやフラップ、吹き出し口に除菌^{(*)8}効果があるステンレスを使用した「ステンレス・クリーン システム」を継続搭載しています(図8)。

プレフィルターは、ステンレスをコーティングしたことで、従来のプレフィルターでは取れにくかった油煙を含んだホコリも、掃除機をサッとかけるだけできれいに取れて、お手入れの手間を軽減します(図9)。また、各部に使用しているステンレスに菌が接触すると、ステンレスに含まれている金属イオンにより菌を抑制します。

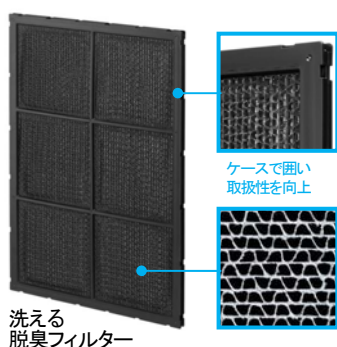


【図8 ステンレス・クリーン システム】



【図9 ステンレスプレフィルター 掃除後の比較^{(*)9}】

このほかにも、清潔さにこだわった機能を採用しています。脱臭フィルターには、水洗いが可能な耐水性脱臭素材の「洗える脱臭フィルター」(図10)を新採用しました。従来の活性炭を用いた脱臭フィルターは水洗いできませんでしたが、本製品に採用の「洗える脱臭フィルター」はニオイが気になる場合に水洗いすることにより、フィルターに吸着したニオイ成分を低減することが可能です。さらに、風を送り出す「銀イオンファン」には抗菌加工^{(*)10}をし、加湿フィルターと水タンクには抗菌・防カビ加工^{(*)11}を施しています(図11)。



【図10 洗える脱臭フィルター】

加湿フィルターと水タンク(フタ・タンク)は抗菌・防カビ仕様



【図11 加湿フィルター・水タンク】

(*)8 空気清浄機から出る空気をすべて除菌しているわけではありません。①ステンレスプレフィルター、②ステンレスフラップ、③ステンレスネット(吹き出し口)の除菌効果 ●試験機関:①②一般財団法人 ボーケン品質評価機構③一般財団法人 北里環境科学センター ●試験方法: JIS Z 2801(フィルム密着法) ●対象: 付着菌 ●除菌の方法: ステンレスに含まれる金属イオンによる ●試験結果: 24時間で99%の除菌効果。

(*)9 当社調べ。写真はステンレスプレフィルターに3か月相当の油煙を含んだホコリを付着させ、日立クリーナーCV-SA700(吸込仕事率 420W)にて清掃しています。

- (*10) 空気清浄機から出る空気の抗菌効果ではありません。銀イオンファンの抗菌効果 ●試験機関: 一般財団法人 ボーケン品質評価機構 ●試験方法: JIS Z 2801(フィルム密着法) ●対象: 付着菌 ●抗菌の方法: 抗菌成分を銀イオンファンに練り込み ●試験結果: 抗菌活性値 5.1(抗菌活性値が 2.0 以上で抗菌効果があるとされています)
- (*11) 加湿用の水への抗菌効果ではありません。①水タンクフタ、②水タンク、③加湿フィルターの抗菌・防カビ効果 ●試験機関: ①②③一般財団法人 ボーケン品質評価機構 ●試験方法: 抗菌試験 ①②JIS Z 2801(フィルム密着法)③JIS L 1902 防カビ試験 ①②③JIS Z 2911 ●対象: 付着菌およびカビ ●抗菌・防カビの方法: 抗菌・防カビ成分を樹脂に練り込み ●試験結果: 抗菌活性値 ①②6.2③5.3(抗菌活性値が 2.0 以上で抗菌効果があるとされています) カビ抵抗性 ①②③カビが生育していないことを確認。

4. 「アレロオフ微細じん HEPA フィルター」などで高い集じん力を実現

微細な粒子もしっかり捕集する「アレロオフ微細じんHEPAフィルター」を継続して採用しています。これにより、0.3 μm の微粒子を99.97%以上(*12)捕集する高い集じん力で、ホコリやスギ花粉はもちろん、浮遊カビ、浮遊ウイルス・細菌も抑制(*13)します。さらに、アレロオフ成分が捕集したスギ、カバノキ、ブタクサの花粉、ダニのフン、ネコのフケなどのアレロ物質の活動を抑制(*14)します。また、本製品は「PM2.5」にも対応(*15)しています(0.1~2.5 μm の粒子を99%キャッチ。換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません)。

- (*12) 定格風量で 0.3 μm の微粒子を 99.97%以上集じん。JIS Z 8122 に規定された HEPA フィルター単体での性能であり、部屋全体の除去性能とは異なります。
- (*13) 25m³(約 6 畳)の試験空間での浮遊ウイルス/浮遊細菌への効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。ご使用の状況や使い方によって効果は異なります。試験は日本電機工業会自主基準(HD-124)に準拠しています。
ウイルス/細菌の抑制効果 ●試験機関: 一般財団法人 北里環境科学センター ●試験方法: 25m³(約 6 畳)の試験空間で、ウイルスは日本電機工業会自主基準(HD-124)の性能評価試験にて実施。細菌も同試験に準拠。 ●対象: 浮遊した 1 種類のウイルス/浮遊した 1 種類の細菌 ●試験結果: ウイルスを 12 分で 99%以上抑制。細菌を 13 分で 99%以上抑制。 ●試験機種: EP-KVG900(ターボ風量時)。
- (*14) 捕集したスギ、カバノキ、ブタクサの花粉、ダニのフン、ネコのフケに対する抑制効果 ●試験機関: ニチニチ製薬株式会社 ●試験方法: ELISA 法 ●抑制の方法: 抗アレロゲン剤をフィルターに塗布 ●試験結果: スギ 96%抑制、カバノキ 90%抑制、ブタクサ 96%抑制、コナヒョウダニのフン 93%抑制、ヤケヒョウダニのフン 91%抑制、ネコのフケ 85%抑制。数値は当社算出による。
- (*15) PM2.5 とは 2.5 μm 以下の微小粒子状物質の総称です。0.1 μm 未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。32m³(約 8 畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。 ●試験方法: 日本電機工業会自主基準(HD-128) ●判定基準: 0.1~2.5 μm の微小粒子状物質を 32m³(約 8 畳)の密閉空間で 99%除去する時間が 90 分以内であること。32m³(約 8 畳)の試験空間に換算した値です。

5. 気になる運転音・電気代にも配慮

高気密設計や最適化された吹き出し流路の開発で、流路内の風の乱れを低減し、運転音を抑えました。これによりターボ風量時で 54dB、静風量時は 15dB の運転音を実現しています。静風量時の電気代は 1 日約 5 円(*16)です。また、「[eco]節電運転(*17)」に設定すれば、通常の自動運転に比べて、消費電力量は最大約 14%低減(*18)します。なお、「[eco]節電運転」中に空気が汚れた場合は、自動運転に切り替わります。

- (*16) 電気代は新電力料金目安単価 27 円/kWh(税込)にて 24 時間での計算値。静運転時の消費電力: 7W。
- (*17) 空気の汚れ具合により、消費電力量の低減度は変わります。また、空気の汚れ具合や湿度の変化への反応が、通常運転に比べて遅れる場合があります。
- (*18) 空清運転モードでの自動運転と「[eco]節電運転」との消費電力量の比較。自動運転: 6.8Wh、「[eco]節電運転」: 5.8Wh。当社試験による。

■新製品の主な仕様

型式	EP-KVG900	EP-KVG700	EP-KV600	EP-KZ30	EP-KV1000				
タイプ	加湿空気清浄機 (ワイドスピード集じん)		加湿空気清浄機	空気清浄機	除湿・加湿空気清浄機				
ガラスパネル	○(ガラスパネル、タッチ操作部)		—	—	—				
適用床面積の目安	空気清浄	加湿	空気清浄	加湿	空気清浄	加湿	除湿		
	～41畳 (68㎡)	空気清浄 ～30畳 (50㎡)	～31畳 (51㎡)	空気清浄 ～27畳 (45㎡)	～26畳 (43㎡)	空気清浄 ～20畳 (33㎡)	～15畳 (25㎡)	空気清浄 ～27畳 (45㎡)	空気清浄 ～27畳 (45㎡)
		[木造] ～13.5畳 (22㎡)		[木造] ～12畳 (20㎡)		[木造] ～10畳 (17㎡)		[木造] ～8.5畳 (14㎡)	[木造] ～8畳 (13㎡)
		[プレハブ] ～22畳 (37㎡)		[プレハブ] ～19畳 (32㎡)		[プレハブ] ～17畳 (27㎡)		[プレハブ] ～14畳 (23㎡)	[プレハブ] ～12畳 (20㎡) [鉄筋洋室] ～16畳 (26㎡)
清浄時間 ^(※19)	8畳なら7分	8畳なら9分	8畳なら11分	8畳なら18分	8畳なら11分				
風量(m ³ /分) ^(※19) (50/60Hz)	9.0	7.0	6.5	3.2/3.3	6.7				
加湿	方式	気化式			—	気化式			
	最大加湿量 (mL/時)	約800	約700	約630	—	約540			
除湿	方式	—			—	デシカント方式			
	最大除湿能力 (L/日)	—			—	約6.5			
ステンレス・クリーンシステム	○		—	—	○				
フィルター	プレフィルター	ステンレスプレフィルター		洗えるプレフィルター	洗えるプレフィルター	ステンレスプレフィルター			
	脱臭	洗える脱臭フィルター			アレルオフフィルター	洗える脱臭フィルター			
	集じん	アレルオフ微細じん HEPA フィルター				アレルオフ微細じん HEPA フィルター			
PM2.5 センシング	○		—	—	—				
運転音 ^(※19) (dB) (50/60Hz)	ターボ風量時	54	48	51	46/49	51			
	静風量時	15	15	15	19/15	14			
消費電力(W) ^(※19) (50/60Hz)	85	56	50	38/41	56				
本体寸法 高さ×幅×奥行(mm)	669×360×254		584×430×273	424×400×133	648×398×293				
本体質量(kg)	12.5	12.0	10.0	4.0	16.0				
本体色	シャンパン(N) パールホワイト(W)	パールホワイト(W)	ホワイト(W)	ホワイト(W)	ホワイト(W)				

(※19) 空清運転時の数値(清浄時間・風量・消費電力は、ターボ風量時の数値)。

※新製品は全機種「PM2.5」に対応しています。

0.1～2.5μmの粒子を99%キャッチ。換気等による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮しておりません。

PM2.5とは2.5μm以下の微小粒子状物質の総称です。0.1μm未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。32m³(約8畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。

●試験方法: 日本電機工業会自主基準(HD-128) ●判定基準: 0.1～2.5μmの微小粒子状物質を32m³(約8畳)の密閉空間で99%除去する時間が90分以内であること。32m³(約8畳)の試験空間に換算した値です。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
